

# 4号特例廃止に賛同が半数以上

## フォーラムネット

フォーラムネットが設計業務に積極的に取り組み、確認申請作業まで取り組んでいく方向性を示し、4号特例廃止による設計業務についても適正な費用負担に基づきプレカット業界が担っていくという意思表示を行った。

今回のフォーラムでは祖父江久好ネットイ

は祖父江久好ネットイ



プレカットCAD、機械メーカー等が集まりパネルディスカッション

イトセンター構想について基調講演。パネルディスカッションでは、小林靖尚アルファフォーラム社長をコーディネーターに宮川和土宮川工業常務、伊藤功平安コーポレーション執行役員プレカット営業部長らを

パネルに加えて、今後のプレカット事業の方向性について討論を行った。

機械メーカーからは、大型工場の受注がなくなり仕事量の減少や構造材ラインから羽柄、合板、多種加工機など加工範囲を拡大している状況を説明。

祖父江氏は、今後の

方向性としては設計業務と施工分野を取り込んでいくことがプレカット工場にとつて必要で、施工までやることで、従来は半径160メートルを商圏としていたものが、30〜40メートルにハブ的な機能を持つ拠点が求められる。設計業務まで拡大するので

あれば、確認申請までできないと費用はもらわなければならないとした。

会場のプレカット工場からは「大手はぎりぎりの単価しか出さないし、工務店は設計などの業務に対して本当にお金を払うか疑問。建築士を社内でも養成しても費用が回収できない」「設計業務を工務店などに認めてもらうためには4号特例を廃止し、確認申請や施主とのやり取りまで行ってこそ費用が取れるのでは」（建材メーカー）との意見も出た。同フォーラムとしても4号特例廃止賛成を打ち出すべきとの意見に参加者の半数以上が賛同した。次回は25日、大阪でスキップフロアの戸建て賃貸住宅事業をテーマに開催する予定。